

# トレーナー機能付きエレキー 製作テキスト 基板Ver2.4用

JA01NM  
2024.10.17版

注 製作テキストは 基板のバージョンに合わせたものをお使いください。

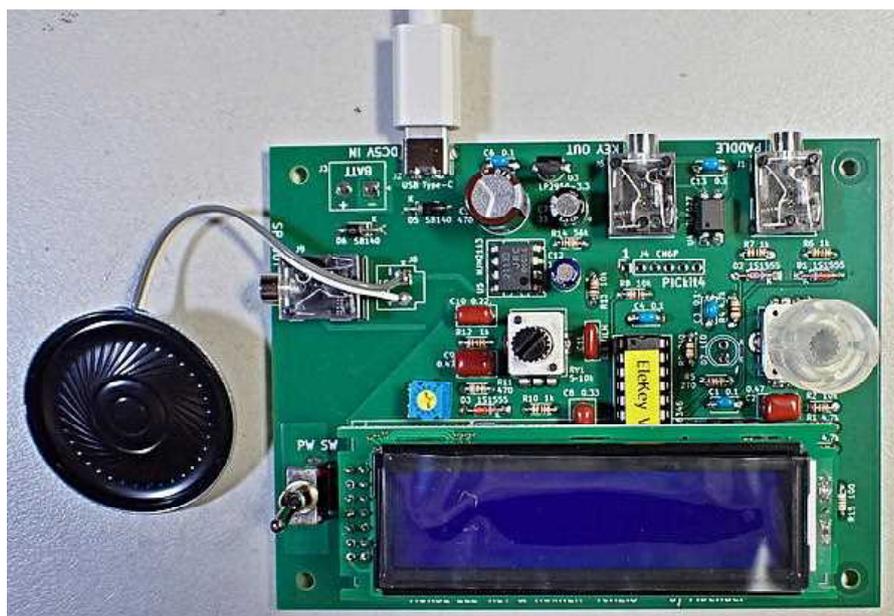


トレーナー機能付きエレキー 本体



参考 エレキーパドル

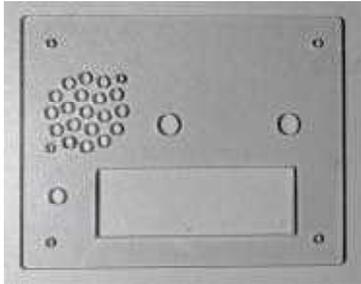
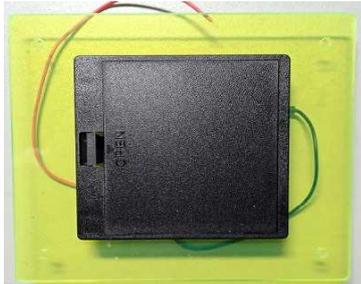
購入も可能ですがこれは自作したものです。(JA1UXRさんのパドル2号を参考に)

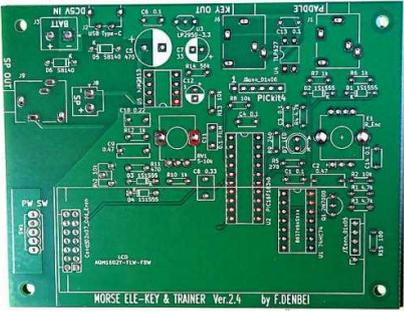
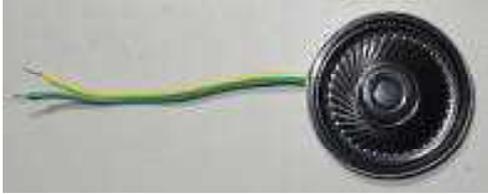


基板完成イメージ

# 1 使用するパーツ

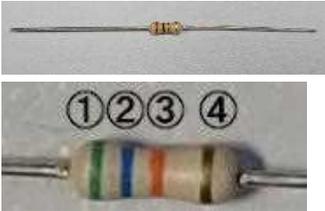
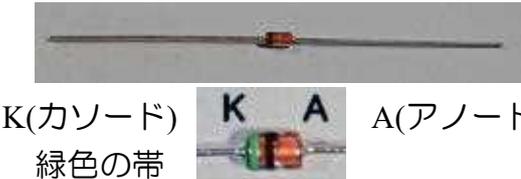
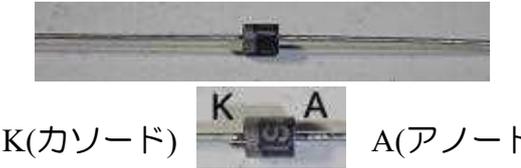
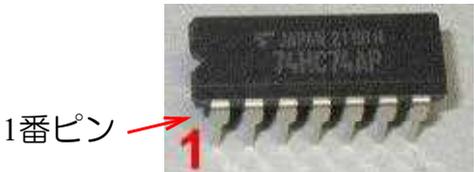
(P23のパーツ一覧表もあわせてご覧下さい)

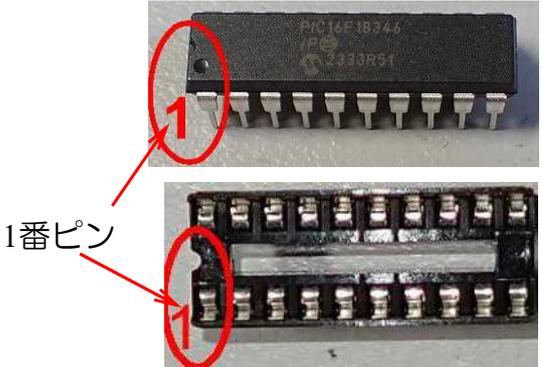
No	写 真	品 名 等	数
1		表パネル プラ板	1
2		裏パネル プラ板 電池ボックス 単三×3本用 組み付け済み	1 1
3		スペーサー M3×15mm (金属) M3×14mm (プラ)	4 4
4		パネル固定用ネジ ナベ M3×8mm プラ M3×7mm	4 4
5		ゴム足	4
6		スピーカー固定用ネジ類 トラス M3×8mm プラスチック小 内φ3 外φ5×2mm 平ワッシャー M3 ナット M3	3 3 3 3

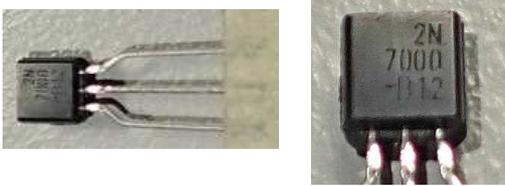
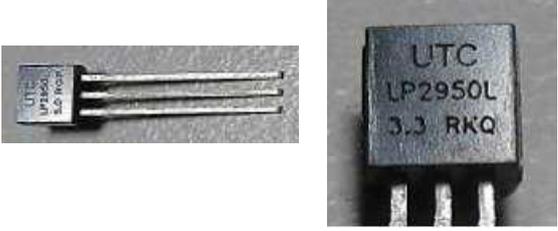
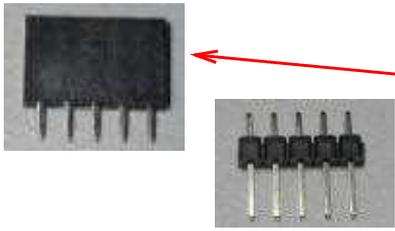
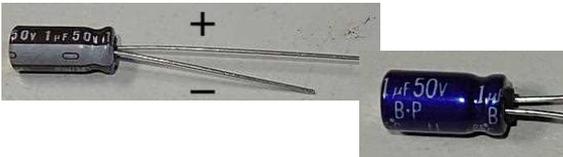
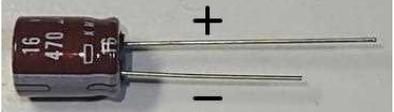
No	写 真	品 名 等	数
7	 <p style="text-align: right;">表面</p>	<p>プリント基板 Ver.2.4</p> <p>表面からパーツを挿入 裏面からはんだ付け</p>	1
8		<p>スピーカー（リード線付き） φ40 or 36mm</p>	1
9		<p>単三乾電池 アルカリ乾電池が良い （安い乾電池は液漏れしやすいので注意）</p>	3
10		<p>はんだ</p> <p>初心者の方には 共晶ハンダ（鉛60% スズ40%） 直径0.6mmをお勧めします</p>	適量

乾電池と はんだは キットには付属しません。

パーツのはんだ付けは、背の低いものから高いものへと順に行うとよいです。  
 これ以降の左の番号は基板にハンダ付けする大体の順番を示しています。  
 (写真と異なるサイズのパーツが入ることがあります。適宜順番を入れ替えてください)

No	写 真	品名・型名 {記号}	数
1 1	 <p>カラーコード ①②③ ④</p> <p>茶黒茶 金 赤黄茶 金 赤紫茶 金 黄紫茶 金 茶黒赤 金 黄紫赤 金 茶黒橙 金 緑青橙 金 (緑茶橙 金 (青赤橙 金</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>カラーコードの色の 判別が難しいときは 抵抗値をテスター等 で確認してください。 <u>特に1kΩと10kΩ</u></p> </div>	<p>抵抗器 1/8~1/6W型</p> <p>100Ω (オーム) {R15}</p> <p>240Ω {R9}</p> <p>270Ω {R5}</p> <p>470Ω {R11}</p> <p>1 kΩ (千オーム) {R6,7,10,12}</p> <p>4.7kΩ {R1,3,4}</p> <p>10kΩ {R2,8,13}</p> <p>56kΩ {R14}</p> <p>51kΩ {R14}代替</p> <p>62kΩ {R14}代替</p>	<p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>1</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>3</p> <p>1</p> <p></p> <p></p>
1 2	 <p>K(カソード) 緑色の帯</p> <p>A(アノード)</p>	<p>小信号ダイオード (ガラス封入型) 1S1555 等 {D1~4}</p>	<p>4</p>
1 3	 <p>K(カソード)</p> <p>A(アノード)</p>	<p>ショットキー ダイオード 1S4 等 {D5,6}</p>	<p>2</p>
1 4		<p>電源ジャック USB-C タイプ {J2}</p>	<p>1</p>
1 5	 <p>1番ピン</p>	<p>ロジックIC 74HC74 {U1}</p>	<p>1</p>
1 6	 <p>1</p>	<p>オーディオアンプ IC NJM2113D {U5}</p>	<p>1</p>
1 7	 <p>1</p>	<p>フォトカプラ TLP627M or TLP785 {U4}</p>	<p>1</p>

No	写 真	品名・型名 {記号}	数
18		積層セラミックコンデンサ 0.1 $\mu$ F {C1,3,4,6,13,14} (表示 104) 注 C11 0.1 $\mu$ F FILM は 別のコンデンサです	6
19		PICマイコン PIC16F18346 {U2}  ICソケット20P (PICマイコン用) 基板へはICソケットをはんだ 付けし、PICマイコンは後か ら差し込む	1  1
20		フィルムコンデンサ 0.1 $\mu$ F (表示 104) {C11}	1
22		0.47 $\mu$ F (表示 474) {C2,C9}	2
24		0.22 $\mu$ F (表示 224) {C10} (他の表示 $\mu$ 22J)	1
25		0.33 $\mu$ F (表示 334) {C8} (他の表示 .33J)	1
21		半固定抵抗器 10k $\Omega$ (表示 103) {RV2} または 20k $\Omega$ (表示 203)	1
23		ミニジャック メス {J1,6,9} (ステレオ タイプ)	3
26		電解コンデンサ 33 $\mu$ F (マイクロファド) {C7}	1

No	写 真	品名・型名 {記号}	数
27		F E T 2N7000 {Q1}	1
28		レギュレータIC LP2950L-3.3 {U3} (LP2950G-3.3)	1
29		L E D {D7} φ5 スモーク 赤or黄 ( <u>LEDが組み込まれていない ロータリーエンコーダーを使用 する時のみ使用</u> )	1
30		{J7} ピンソケット 5ピン (1列)	1
		ヘッダーピン 5ピン (1列)	1
		液晶表示器 (LCD) {J5}	1
		付属 ヘッダーピン 14P(2列)	1
		ピンソケット 14P(2列)	1
		<u>注 付属している抵抗(10Ω)は 使いません。</u>	
31		電解コンデンサ 1 μF {C12}	1
		(無極性BPの場合もあります)	
32		470 μF {C5}	1

No	写 真	品名・型名 {記号}	数
33		ボリューム {RV1} 5kΩ or 10kΩ (カーブA or B 高さ20 or 25mm)	1
34		トグルスイッチ {SW1}	1
35	<p>LED内蔵型</p>  <p>LED無し型</p> 	<p>プッシュスイッチ付き ロータリーエンコーダー {E1}</p> <p>LED内蔵型の場合は 赤または オレンジのみ点灯</p> <p>LED無し型の場合は 別に LED (No.29) も入ります</p> <p>キットにはいずれかが入り ます</p>	1

その他 用意すると良いもの

ACアダプター

出力電圧DC5V 電流1~2A程度 USB-Cプラグ付き  
スマートフォン充電用のアダプターが使えます。



注 USB-C による電源供給  
本機はUSB PD (Power Delivery)  
には対応していません。USB PDに  
対応した電源を接続しても通電さ  
れません。

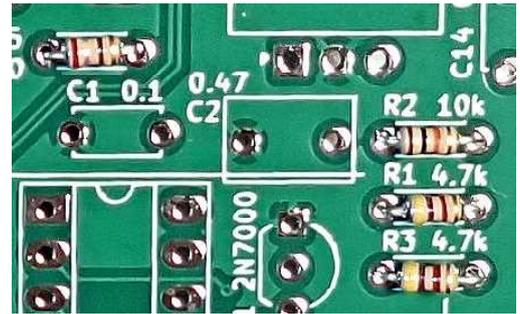
もしくは 直流電源装置 出力電圧5V (最大負荷電流250mA程度)

## 2 基板のはんだ付け

### 1) 抵抗 (R1~R15)

注 R14 56kΩの代わりに51kΩ・62kΩが入ることがあります。

- ① 全ての抵抗のリード線を直角に曲げます。  
(15本)



- ② 基板の印刷やパーツ配置図を見ながら、間違えないようにすべての抵抗を差し込みます。左右の向きはありませんが、カラーコードの向きをそろえると良いです。

- ③ 何かの板を基板の表に当てて裏返すと部品が抜けずにはんだ付けに入れます。

- ④ 全ての抵抗の、片方のリード線だけをはんだ付けします。



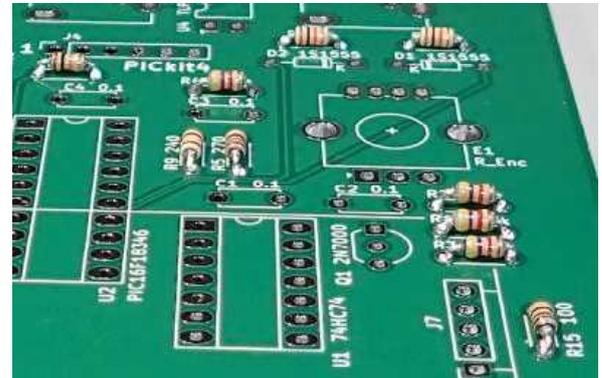
表側に少しはんだがにじみ出ているのが良い。

(あまりこだわらない)



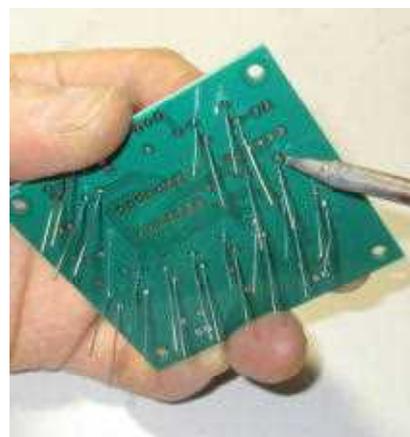
- ⑤ 表側から見て抵抗が基板にピッタリついているか確認します。

浮いていたり斜めになっていたら、はんだゴテではんだを溶かして直します。



### パーツの浮きの直し方

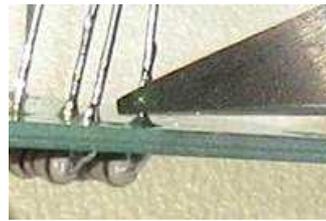
(熱いのでテープなどで指を保護)



基板を持ち、直したいパーツを人差し指(爪)で押しながら・・・

裏面からハンダを溶かせば浮きが直る。両足をはんだ付けしてあるとダメ。

- ⑥ 残り全てのリード線をはんだ付けして、余分なリード線をニッパーで切ります。リード線が飛ばないように、先端を指でつまむか、軽く押さえて切っていきます。



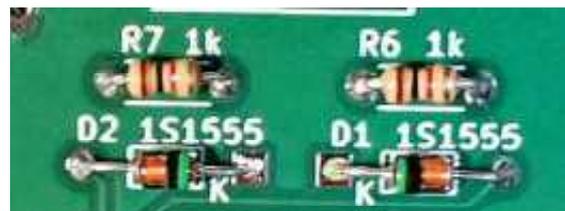
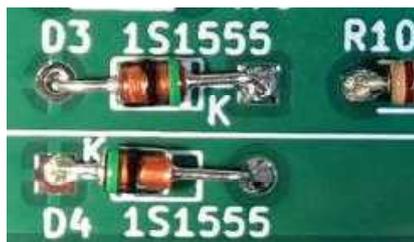
はんだが吸い上がっている頂上あたりを切ると良い。

最初一本の足だけはんだ付けし、姿勢を直してから他の足をはんだ付けするのは全てのパーツに共通。

なお、DIP-ICなどは対角線の2カ所を最初にはんだ付けしてから直すと良い。

## 2) 小信号ダイオード (D1~D4 1S1555等)

- ① 穴の間隔に合わせてリード線を直角に曲げ、向きに注意して(帯状のカソードマークを基板の印刷に合わせて)差し込み、はんだ付けします。特に熱に弱いので加熱し過ぎないように注意して下さい。



(今回使っているものはカソードマークが緑色)

- ② 余分なリード線を切ります。

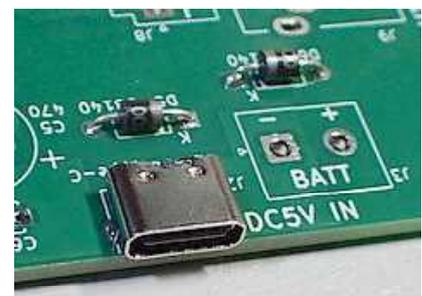
## 3) ショットキーダイオード (D5,D6 1S4等)

- ① 小信号ダイオードと同様に注意してはんだ付けします。銀色の帯がカソードマークです。  
(パーツ表示は SB140となっています)



## 4) USB-C ジャック (J2)

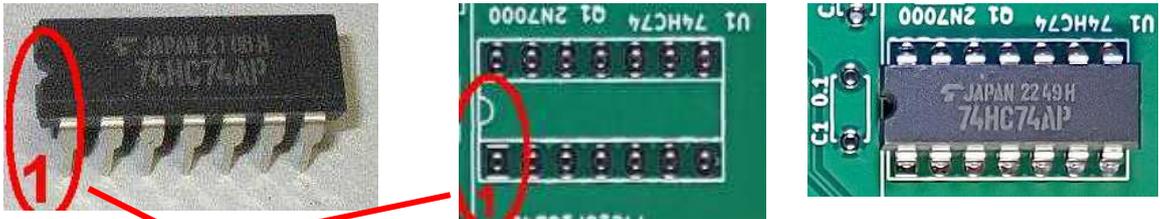
- ① 足が短いので、特に基板との間に隙間が生じないように、1箇所ずつ確認しながらはんだ付けします。  
② スルーホールにはんだが吸い込まれるようにしっかり加熱してください。  
(はんだが溶けてから、しっかり3秒間加熱)



5) ロジックIC (U1 74HC74)

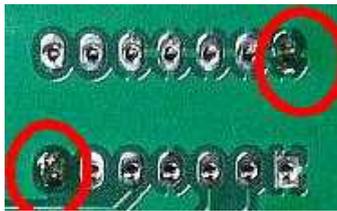
- ① 1番ピンマークの位置に気を付けて基板へ差し込みます。

注 足が開いていて入らない場合は、慎重に内側に曲げて下さい。



1番ピン (切り欠きやポツマークを左にします)

- ② 対角線の2カ所だけをはんだ付けします。

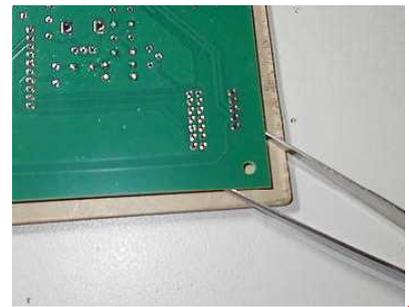


注 ここで3つ以上の足をはんだ付けすると浮きなどの修正ができません。

- ③ 浮きを直して、残りの足をはんだ付け。足は短いので切らなくても良い。

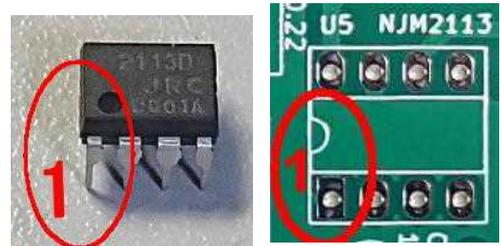
注 上手にハンダ付けをするには、基板を水平に安定させることが大切です。

右のように、ハンダ付けするパーツの高度で基板が水平になるように適当なものを敷き (差し込み)、基板を安定させます。



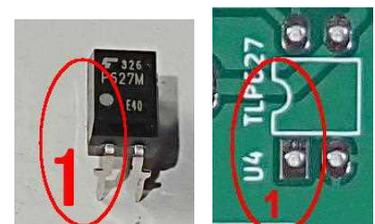
6) オーディオアンプIC (U5 NJM2113D)

- ① 1番ピンマークの位置に気を付けて差し込み、ロジックICと同様にハンダ付けします。



7) フォトカプラ (U4 TLP627 or TLP785)

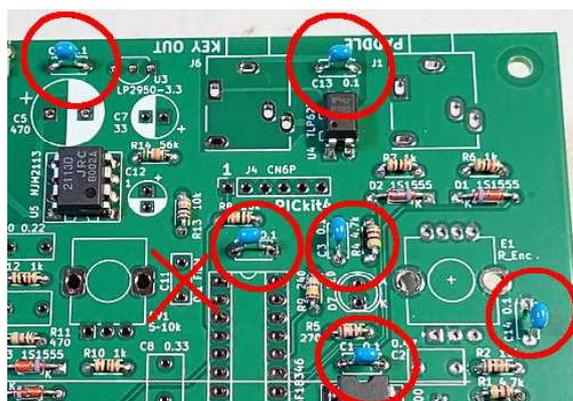
- ① 1番ピンマークの位置に気を付けて基板へ差し込み、ロジックICと同様にハンダ付けします。



8) 積層セラミックコンデンサ (C1,C3,C4,C6,C13,C14 0.1 $\mu$ F)

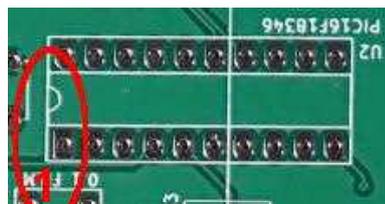
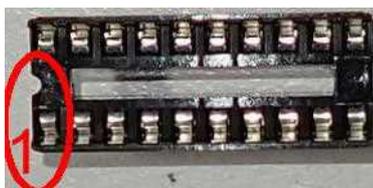
注 C11 0.1 $\mu$ F FILM は別のコンデンサです。間違えないよう。

- ① 向きはありません。  
文字表示が正面になるように統一すると良い。



9) PIC用ICソケット 20P (U2 PIC16F18346)

- ① ここではICソケットをはんだ付けします。PICマイコンは基板が完成した後で、このソケットに差し込みます。
- ② 1番ピンの位置に気を付けて差し込み、ロジックICと同様にはんだ付けします。



10) フィルムコンデンサ

(C11 : 0.1 $\mu$ F)

- ① 向きはありません。



11) 半固定抵抗器 (RV2 10k $\Omega$  or 20k $\Omega$ )

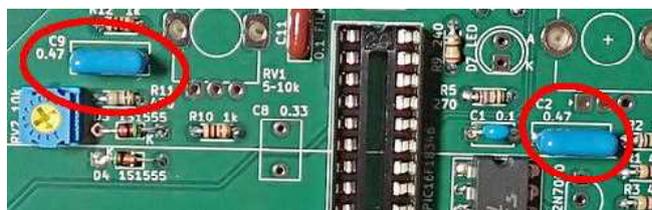
- ① 基板に密着させて、最初に中央の1カ所だけをはんだ付け。後は他と同様に。
- ② 足が長い場合は切ります。



12) フィルムコンデンサ

(C2,C9 : 0.47 $\mu$ F)

- ① 向きはありません。



13) ミニジャック (J1, J6, J9)

- ① 基板に密着させてハンダ付け。

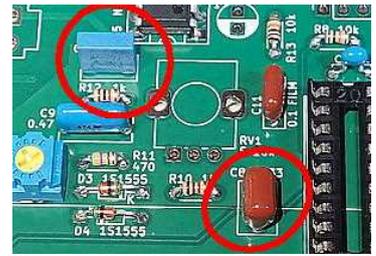


14) フィルムコンデンサ

(C10 : 0.22  $\mu$ F C8 : 0.33  $\mu$ F)

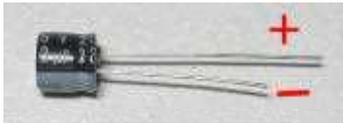
注 22  $\mu$ Fには「 $\mu$ 22J」の表示あり。

- ① 向きはありません。



15) 電解コンデンサー (C7 33  $\mu$ F)

- ① 十の極性があります。



本体の- (マイナス) 表示と基板の-表示を合わせます。-表示が無い場合は足の短い方が-。

16) FET (Q1 2N7000)

- ① 向きがあります。

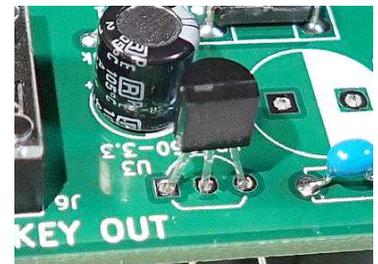
- ② 足の長さが5mm位になるところまで差し込んではんた付けします。



17) レギュレータIC (U3 LP2950L-3.3)

- ① 向きがあります。

- ② 足を少し開き、FETと同じ高さになるように差し込んではんた付けします。



18) LED (D7)

注 LEDを内蔵していないロータリーエンコーダーを使うときのみ組み付けます。

- ① 向きがあります。足の長い方がA (アノード) 短い方がK (カソード) です。



- ② 基板に印刷されている形状、またはA、Kのマークを確認して差し込み、はんた付けします。

19) 液晶表示器 (LCD)

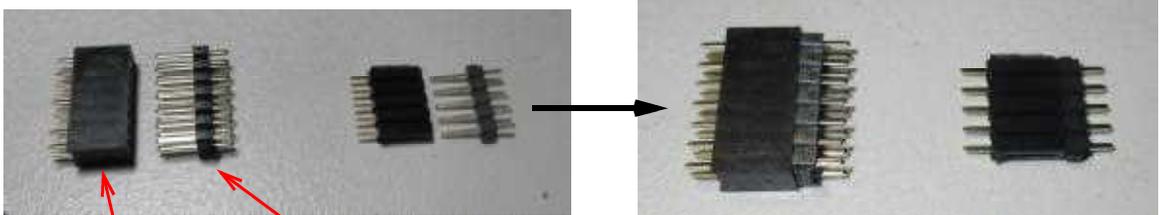
ピンソケット (J5:14P、J7:5P)

ヘッダーピン (14P、5P)

LCD同封の説明書に書かれている変更は行いません。LCD内の J3, R9 には手を加えないでください。付属抵抗 10Ωは使いません。(J3, R9 は共にオープンのまま)

この項の最後⑥まで読んで、手順を間違えないように気を付けてください。

- ① 14Pと5Pのピンソケットに、それぞれのヘッダーピンの長い方をしっかりと差し込みます。



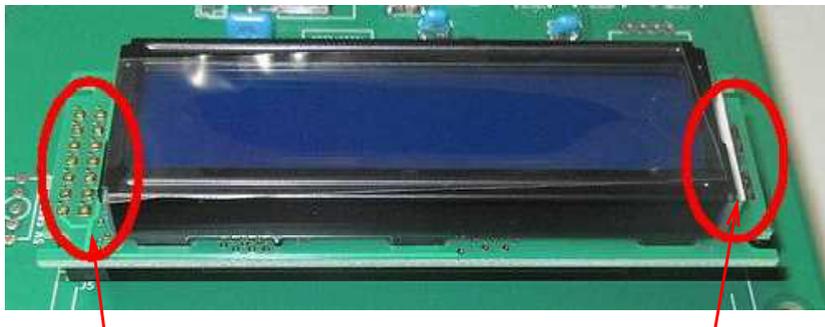
ピンソケット ヘッダーピン

- ② 14Pと5Pの ピンソケット側 を基板に差し込みます。



- ③ 液晶表示器 (LCD) をヘッダーピンの上に置きます。液晶表示器の左右のランドの穴に、対応するヘッダーピンが刺さるようにします。

基板を机の上に安定させ、液晶表示器を下に押し付けて差し込みを確実にします。



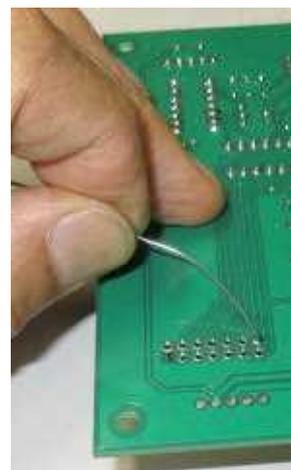
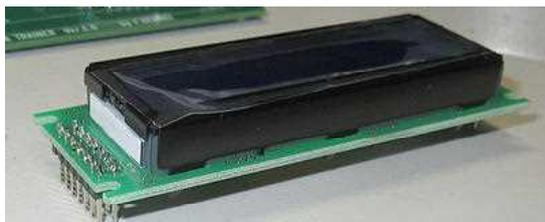
- ④ 液晶表示器の表側からすべてのピンをはんだ付けします。

最初は左右の1箇所ずつから始め、隙間が生じないように気を付けてはんだ付けしていきます。

- ⑤ 液晶表示器が外れないように基板を裏返し、左の手で基板を水平に押さえつけながらはんだを供給し、ピンソケットをはんだ付けします。

(左手は押さえ付けとはんだ、右手ははんだごて)  
(左利きの人は逆)

- ⑥ はんだ付けが終わったら液晶表示器を外しておきます。ピンを曲げないように、少しずつ慎重に抜いてください。



## 20) 電解コンデンサー (C12 : 1 $\mu$ F、 C5 : 470 $\mu$ F)

注 1 $\mu$ Fには無極性(BP)のものが入ることがあります。  
470 $\mu$ Fの高さを基板から14mm未満に抑えること。

- ① C7 : 33 $\mu$ Fと同様に+-の極性に気を付けてはんだ付けします。

— (マイナス) のマークが無い場合は足の長さで判断してください。(長い足が+、短い足が-)

基板の穴と足の間隔が合わないときは少し浮いても良いです。

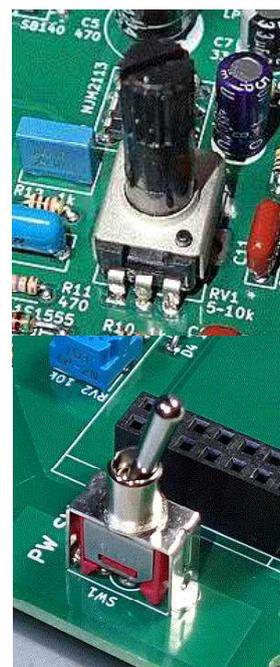


## 21) ボリューム (RV1 5k $\Omega$ or 10k $\Omega$ )

- ① しっかりと差し込んで浮きがないようにはんだ付けします。ガイドの金属も、押さえる程度に少しはんだ付けします。

## 22) トグルスイッチ (SW1)

- ① 元まで差し込んで、浮きがなく、かつ、傾かないようにはんだ付けします。向きはありません。



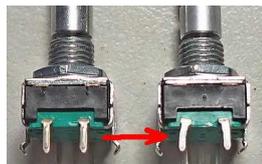
### 23) ロータリーエンコーダー (E1)

<LED内蔵型の場合>

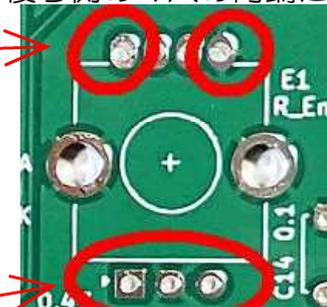
- ① しっかりと差し込んで浮きがないようにはんだ付けします。ガイドの金属も、押さえる程度に少しはんだ付けします。

<LED無し型の場合>

- ① 後ろ側の2端子の足を少し広げ、取り付け穴4穴の内の両端に差し込むようにします。



後ろ側の4穴の両端に



前側の3穴

- ② 前側の3端子はそのまま差し込みます。



- ③ しっかりと差し込んで浮きがないようにはんだ付けします。ガイドの金属も、押さえる程度に少しはんだ付けします。(D7 LEDは 17) で取り付け済み)

### 24) 目視チェック

以上で基板がとりあえず完成しました。次へ進む前にもう一度確認してください。

- ① はんだだけが全て確実に行えていますか？。はんだが多すぎてはんだ付け不良が隠れていることはありませんか？。

基板の裏側を下にしてコテで溶かすと多過ぎるはんだがコテに付いてきます。(私も全てのはんだ付け箇所を必ず(老眼鏡+ルーペで)確認します。)

- ② 部品の位置や向きに誤りはありませんか？。

誤りがあると大電流が流れて部品を破損することがあります。

### 25) PICマイコンの差し込み

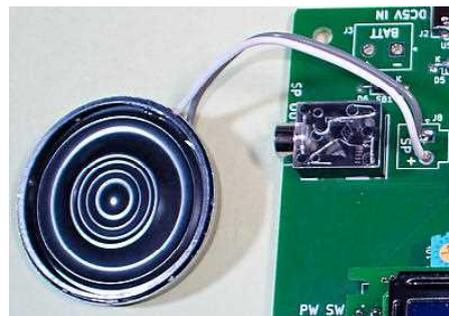
20PのICソケットへ、1番ピンの位置を合わせて差し込みます。

足が開いていて入らないことがあります。その場合は慎重に内側に少しずつ曲げて下さい。



## 26) スピーカーのハンダ付け (J8)

- ① 基板のJ8の所にスピーカーのリード線をはんだ付けします。



接続はどちら側でもよいですが、できればスピーカーの極性と合わせてください。

## 27) 動作確認

手元にACアダプターや直流電源などの電源装置がある方は、次の手順で動作確認をしてください。

無い方は、先に 27) 28) 29) (電池ボックスのリード線のはんだ付け 位まで) を先に行ってから戻ってください。

- ① 液晶表示器 (LCD) を元のように差し込みます。
- ② ACアダプターなどで基板の 電源ジャック から電源を供給します。  
直流電源装置を使うときは基板の BATT + のところへ接続してください。  
電池ボックスを取り付けた場合は、乾電池をセットします。
- ③ 電源スイッチをONにすると正常なら次の変化が表れます。
  - ・スピーカーから「ピポ」音。
  - ・エンコーダーの軸が点灯。
  - ・液晶表示のバックライトが点灯。

なお、ボリューム RV1 (5~10k $\Omega$ ) を絞ってあると音がしません。



正常でないときはすぐにスイッチを切り、電源を外して基板を再度確認してください。

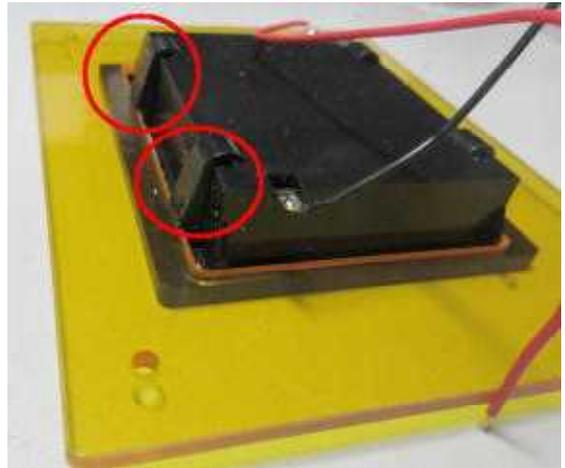
- ④ マイナスドライバー (小) で半固定抵抗RV2 (10k $\Omega$ ) を回して、液晶表示のコントラスト調整を行います。液晶に何らかの表示が表れるはずです。
- ⑤ 取扱説明書 (HPよりダウンロード) の動作が正常に行えるか確認してください。



## 28) 電池ボックスの取り付け

パネル込みのキットは既に取り付け済みです。

- ① 裏パネルの角穴に電池ボックスをはめ込みます。裏パネルには向きや裏表はありません。
- ② 4つの爪を細いマイナスドライバーなどでパチンと音がするまで起こして、パネルにしっかりと引っ掛かるようにします。  
(電池ボックスを裏パネルにしっかりと密着させ、電池ボックスをずらして隙間を広げるようにするとあまりやすい。爪の破損に注意)



## 29) 裏パネルへゴム足の組み付け

- ① ゴム足の穴にネジ（なべ M3×8 鉄）を差し込み、金属スペーサー（M3×14）で裏パネルに固定します。あまり強く締めずにゴムを効かせるように。

a) 裏の紙を剥がす



b) 先のとがったもので穴を開ける



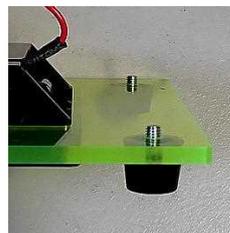
c) ドライバーでネジを強く差し込み



d) ゴムの底からネジの先を出す



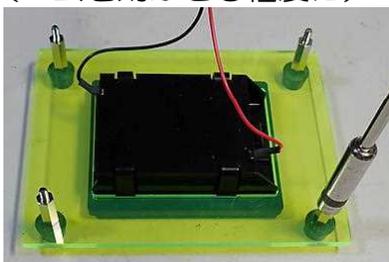
e) ゴム足のネジを裏パネルの四隅の穴に差し込み



f) 金属スペーサーでゴム足を固定



g) ナットドライバーで適度に締め付ける  
(ゴムを効かせる程度に)



ナットドライバーが無いときは  
+ドライバーでゴム足側から  
締める

### 30) 電池ボックスのリード線はんだ付け

- ① 基板の裏側からリード線の先を差し込みはんだ付けします。

赤が+（プラス）

黒が-（マイナス）

注 被覆を長く剥ぐと+がショートしやすくなるので  
注意する。

ショートすると電池ボックスや電線が溶けます。



- ② 26) 動作確認 が終わっている方は、電池ボックスに単三電池をセットして電源スイッチを入れて再度操作確認をします。

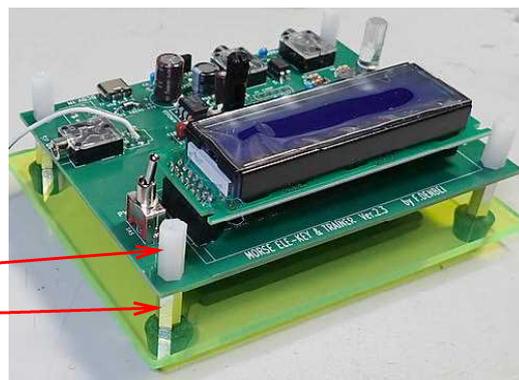
### 31) 基板の組み付け

- ① 裏パネルの金属スペーサーのネジ部に  
基板の四隅の穴を合わせてはめ込みプラ  
スパーサーで固定します。

手でしっかりと回して締める程度。  
(ナットドライバーを使うときは強く締め  
過ぎないように特に注意)

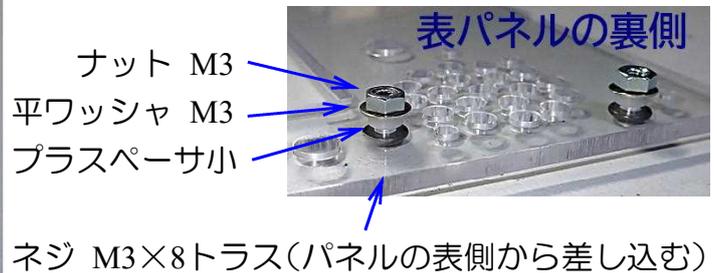
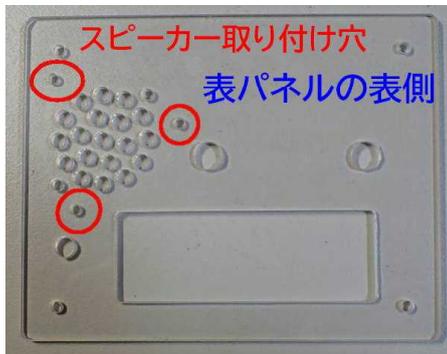
プラスパーサー

金属スペーサー



## 32) スピーカーの組み付け

- ① 表パネルのスピーカー取り付け穴の2箇所（箇所）にネジ類を取り付けます。  
（ネジはパネルの表側から差し込み、他はパネルの裏側から）  
このとき、ネジはゆるんだ状態にしておきます。



- ② 右図のように、3本目のネジ（表側から）とプラスペーサ小（裏側から）を取り付けたところへスピーカーをはめ込みます。

プラスペーサ小（裏側）  
ネジ M3×8トラス（表側から）



- ③ 3本目のネジに、平ワッシャ、ナットを取り付けた後、全てのナット（ネジ）を締め付けます。

ナット M3  
平ワッシャ M3



ナット  
ドライバ  
(対辺5.5mm)



ナットドライバが無い方は、+ドライバで表側から締め付けてください。

- 注 スピーカーが均一に中央にくるようにしてください。  
ナット（ネジ）を締め付け過ぎないようにしてください。

### 33) 表パネルの組み付け

- ① 表パネルを4本のプラネジ (M3×8) で固定します。

注 プラスチック製のネジやスペーサーは金属製に比べて弱く破損しやすいので、強く締め付けないよう特に注意。

- ② エンコーダーのつまみを軽くはめ込みます。

強く押し込むとパネルに当たるので注意して下さい。今後の操作もできるだけ軽く行ってください。

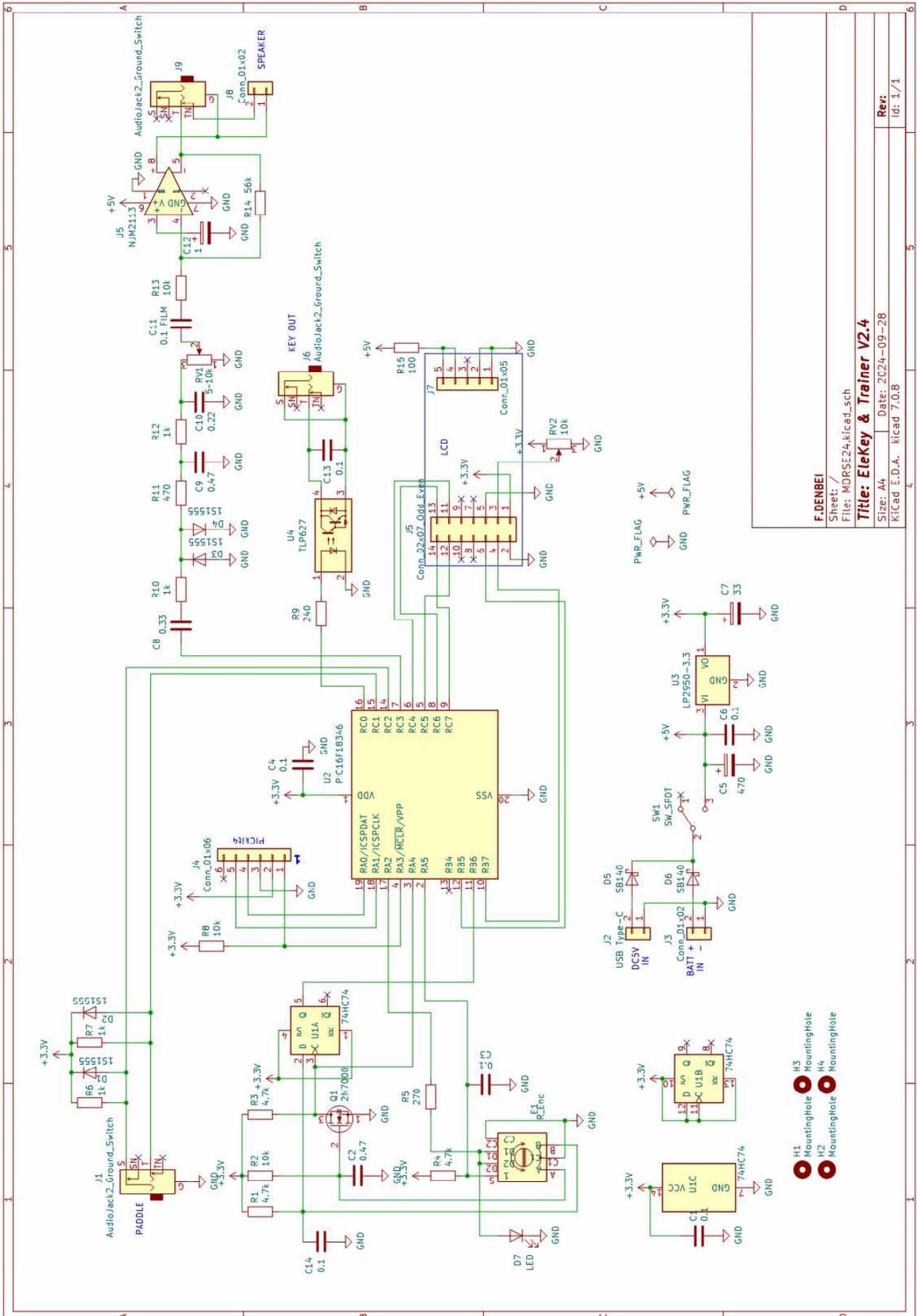
もしパネルに当たるようなら、つまみの穴の中に3mm程度何かを詰めて下さい。  
なお、接着剤で固定すると後で困ります。



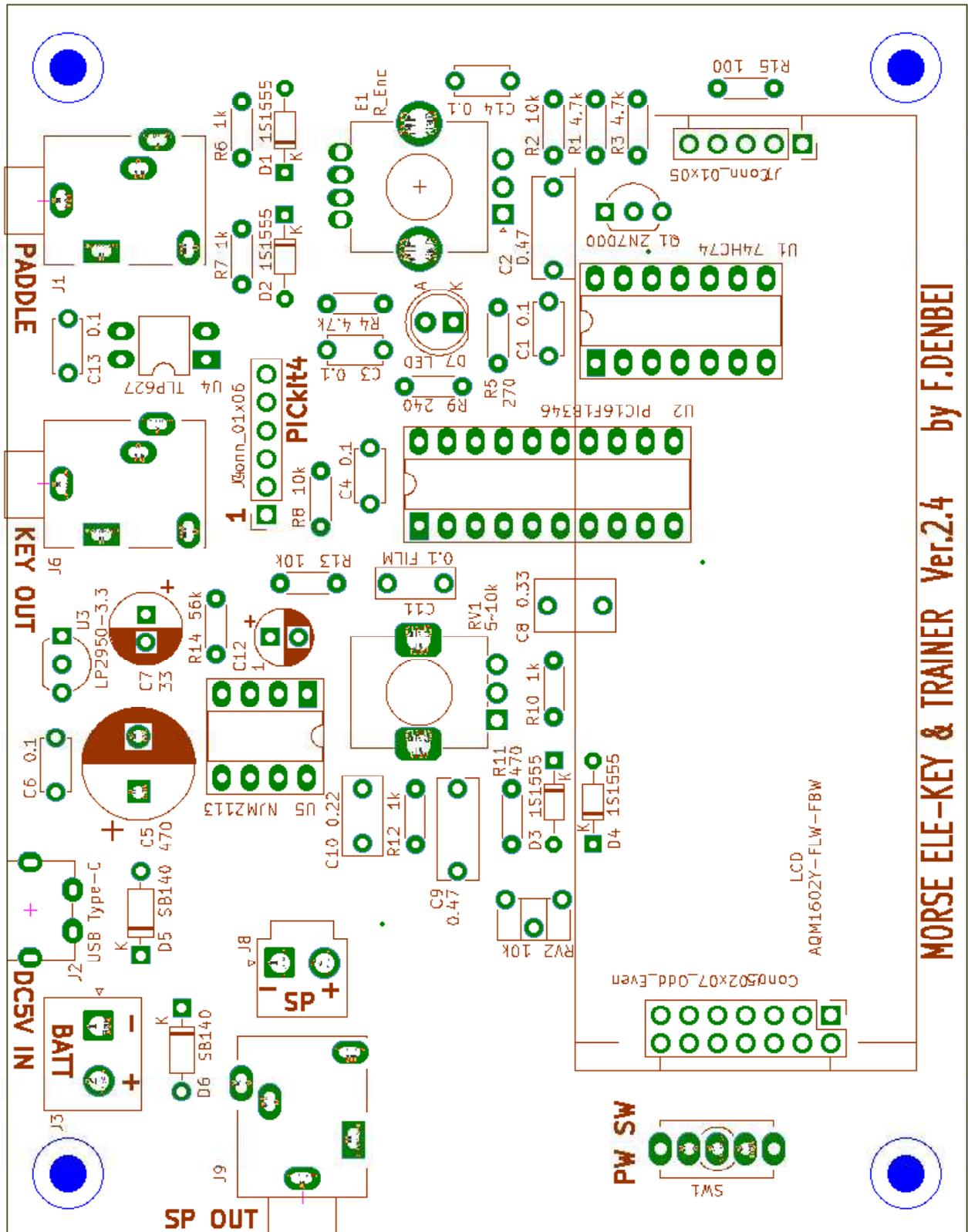
- ③ 電源スイッチを入れて最後にもう一度動作確認をします。

以上で完成です！ お疲れさまでした

### 3. 回路图



#### 4. パーツ配置図



MORSE ELE-KEY & TRAINER Ver.2.4 by F.DENBEI

## 5. パーツ一覧表

トレーナー機能付きエレキキット パーツ一覧表 V2.4

2024/10/16 JA01NM

セット	品名	記号	規格等	メーカー	型名	数	発注先例
セット1 セット2 共通	プリント基板		91×111mm	特注品	Ver.2.4	1	PCBGOGO
	小型スピーカー	SP	8Ω2W φ36or40			1	ALI
	液晶表示器(LCD)		3.3Vバックライト付き	Sunlike Dsp	SC1602BBWB-XA -LB-G	1	秋月電子
	ピンソケット	J5	14P(7P×2列)		(LCDに付属)	1	秋月電子
	ヘッダーピン		14P(7P×2列)		(LCDに付属)	1	秋月電子
	ヘッダーピン		5P×1列			1	秋月電子
	ピンソケット	J7	5P×1列		FH-1x5SG	1	秋月電子
	小信号ダイオード	D1~D4			ISS178(1S1555代替)	4	
	ショットキーダイオード	D5~D6			PANJIT 1S4(SB140代替)	2	秋月電子
	抵抗	R15	1/8~1/6W 100Ω			1	秋月電子
	抵抗	R9	1/8~1/6W 240Ω			1	秋月電子
	抵抗	R5	1/8~1/6W 270Ω			1	秋月電子
	抵抗	R11	1/8~1/6W 470Ω			1	秋月電子
	抵抗	R6,R7,R10,R12	1/8~1/6W 1kΩ			4	秋月電子
	抵抗	R1,R3,R4	1/8~1/6W 4.7kΩ			3	秋月電子
	抵抗	R2,R8,R13	1/8~1/6W 10kΩ			3	秋月電子
	抵抗	R14	1/8~1/6W 56kΩ or 51kΩ or 62kΩ	(基板には56kと表示)		1	秋月電子
	FET	Q1	Nch MOS FET	ON	2N7000	1	秋月電子
	レギュレータ	U3	3.3V 100mA	TI	LP2950L-3.3V	1	秋月電子
	ロジックIC	U1	CMOS		74HC74	1	秋月電子
	PICマイコン	U2		Microchip	PIC16F18346-1/P	1	秋月電子
	ICソケット	U2用	20P			1	秋月電子
	フォトカプラ	U4			TLP785(TLP627代替)	1	秋月電子
	オーディオアンプIC	U5	差動出力	JRC	NJM2113D	1	秋月電子
	積層セラミックコンデンサ	C1,C3,C4,C6, C13,C14	0.1μF 5mmフォーミング			6	秋月電子
	フィルムコンデンサ	C11	0.1μF	Panasonic	ECQ-V	1	秋月電子
	フィルムコンデンサ	C10	0.22μF			1	秋月電子
	フィルムコンデンサ	C8	0.33μF			1	秋月電子
	フィルムコンデンサ	C2,C9	0.47μF 7.5mm	Nitsuko	MFC	2	秋月電子
	電解コンデンサ	C12	1μF			1	秋月電子
	電解コンデンサ	C7	33μF			1	秋月電子
	電解コンデンサ	C5	470μF			1	秋月電子
	半固定抵抗	RV2	10kΩ or 20kΩ	TOCOS	(基板には10kと表示)	1	秋月電子
	ミニジャック	J1,J6,J9	ステレオメス	ULTIMAX	AJ-1780	3	秋月電子
	ピンソケット	J4	6P		FH-1x6SG	1	秋月電子
	USB Type-Cコネクタ	J2	電源供給用	Chang Enn	A295-CTRPB-1	1	秋月電子
	ボリューム	RV1	10kΩ AorB	Bourns	PTV09A-4025S-A103	1	Mouser
	ロータリーエンコーダー	E1	PSW・ノブ付き LED 緑赤or赤青or青橙(赤 or橙のみ点灯)	Top-Up	EC12PLxxSDVF-D- 25K-24-24C-31/0	1	秋月電子
				Bourns	PEC11R-4220K- S0024	1	Mouser
		LED	D7	φ5 赤or黄 スモーク		OSY5JA5E34B	(1)
トグルスイッチ		SW1	SPDT	Cosland	2MS1-T1-B4-VS2 -Q-E-S	1	秋月電子
セット1 のみ	表パネル		透明t3×96×120 ポリカ、アクリル等			1	
	裏パネル		着色t3×96×120 塩ビ等			1	
	電池ボックス		単三 3本	タカチ	LDN-3B	1	モノタロウ
	金属ネジ	スピーカー取付用	M3×8 トラス 黒			3	
	ナット	〃	M3			3	
	平ワッシャ	〃	M3			3	
	プラスペーサ	〃	外φ5内φ3×2mm			3	廣杉計器
	プラスペーサ	表パネル用	M3×14			4	秋月電子
	プラネジ	〃	M3×8	(プラスペーサーに付属)		4	
	金属スペーサ	裏パネル用	M3×15	廣杉計器	BSB-315E	4	廣杉計器
金属ネジ	〃	M3×8 ナベ			4		
ゴム足		M3用 小	E-CALL	020-001-000(R)	4	秋月電子	

注 単三乾電池、糸ハンダは付属しません。